

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2019.08.No264

8月号

目次

- 全国大会直前特集……………1
- 道士会の動き……………3
- ありがた検討会議報告……………4
- 青年・女性の窓……………6
[No.92 HOKKAIDO 建築士会 女性委員会]
- Coffee Break……………7
- information……………8

URL <http://www.h-ab.com/>

全国大会直前特集

全国大会準備真っ盛り



全国大会「北海道大会」大会実行委員長・函館支部長 山内 一 男

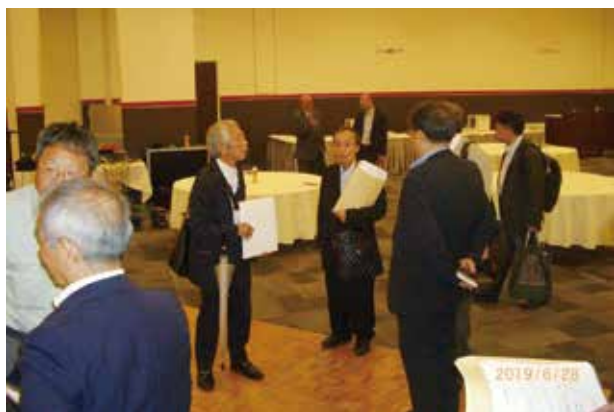
大会直前準備真盛り

会員の皆様、9月21日(土)に函館で開催される建築士会全国大会北海道大会の参加申込みは済みましたか。そして、前日や当日の大会運営をお手伝いが可能な方、応援宜しくお願いいたします。現在、200余名の応援サポートスタッフの登録があり感謝申し上げます。

大会実行委員会は開催準備の詳細なタイムスケジュールの作成に入り、スタッフ配置が決定し、大会前の全体打合せの段取りに入ります。

6月末、日本建築士会連合会の木村常務理事を含め4名の職員が会場と準備状況を視察し、連合会と大会開催・準備の委員会との初めての会合が開かれました。

冒頭、纏まったコンパクトな大会の準備状況に謝意があり、また、大会は華美にせず式典などは簡潔に行うよう話されました。特に式典の進め方とタイムスケジュールには、司会者を含めての打合せの必要性を感じ担当者に準備を指示させました。



会場視察



連合会との全体会議



8月初旬には函館支部、桧山支部会員の大会スタッフ合同運営打合せが、大会会場で行われます。マニュアルを持って当日をシミュレートします。

会員の準備は開催日まで、熱くまだ続きます。

大会のホットニュース、あれこれ

イカの町函館、イカ漁が解禁になって初水揚げは昨年と同じくらいの1.4トンとの事、不漁を予想していたのとは違い、これからに期待するコメントがあり、大会のテーブルをイカが賑やかに占領してくれることを願わずにはいられない。今のイカの大きさは手の平サイズが多いがこれからを期待しよう。



函館名物ヤリイカ

そうは言っても、お昼にはマグロ丼が屋台に並びそうな情報が入ってきました。最近、道南の海にマグロが定置網に入るそうで、前日の青年委員会でマグロが振る舞われれば、充分期待ができそうです。

昼の屋台は何が出店されるか、当日のお楽しみという次第です。



午後の最初は、建築家・藤本壮介氏の記念講演です。「Between Nature Architecture」をテーマに、自分のプロジェクト作品を通してお話をして頂けると思っています。

“GA JAPAN”で連載中の「地球の景色」では、地球の国々町や街並みと建築の有り様を、目や肌で感じ取り読み解いています。これからの「まち」や「自然」と建築について、語ってくれるのではと思っ

ています。非常に楽しい時間を過ごせそうです。もし手元にGAがありましたら、一読をお勧めします。

式典が無事終わると、大交流会です。函館大会ですから、会場でのイカ踊りの期待の大きさは充分承知で、大会開催準備で体力が消耗していなければいいのですが。支部・総務委員長の山田さん大丈夫ですか。



函館山夜景

9月21日の函館の天気は、過去5年間は雨が降っていません。晴れています。今年は晴れ曇りの予報予想で、函館山からの夜景は期待出来そうです。

翌日のエクスカッション、江差に行かれる方は江差追分の全国大会の歌声に出逢えます。



江差追分

大会が無事、成功裏に終えることが出来ます様、皆様のお力添えよろしくお願いいたします。

速報

全国から約3,000名がエントリー ～北海道からは471名が参加

第一回目の集計で全国から約3,000名の参加申込がありました。また、北海道からは34支部より471名の会員が参加します。みなさんで盛り上げていきましょう！

令和元年度 東西アスファルト事業協同組合からの助成を活用した委員会活動について

本年も東西アスファルト事業協同組合から150万円の助成が決まり、委員会活動に協賛・支援をしていただくことになりました。

東西アスファルト事業協同組合では平成26年度より事業エリアごとにその風土や地区性を踏まえた広告宣伝事業活動を実施しており、地区の主体性をもった活動が推進されているところです。

令和元年度の助成対象事業は次のとおりです。情報委員会では、情報の発信に見て楽しめる紙面づくりを目指し、魅力ある情報誌とするため「北海道建築士」のカラー化を推し進めます。(助成307千円) まちづくり委員会では、一般の方々を対象に景観まちづくりや魅力的な景観資源を守り育てていくための「景観まちづくり塾」を開催します。(同260千円) 青年委員会では、この助成の発端となった「木で遊ぼう！マイはし作り体験」を実施するとともに、未

来を担う子供たちに建築への関心や興味を抱いてもらうための「建築のお仕事体験イベント」を実施します。(同200千円) 女性委員会では、高校の家庭科授業でライフスタイルや住環境を考え、住まいへの関心を高めるきっかけづくりを行う「建築士による家庭科等住教育出張講座」を実施します。(同260千円) 被災地応急支援委員会では、「胆振東部地震その後：セミナー(シンポジウム)防災研修」を行います。(同261千円) 会員増強特別委員会では、建築士の新規合格者を対象に新建築士セミナー及び免許証明書の授与式を開催するとともに、建築士会の紹介から活動内容を盛り込んだリーフレットを作成します。(同212千円) 以上、今年度は6つの実行委員会の7事業に対して有効に活用させていただき、それぞれの委員会の事業活動を推し進めていきます。

事務局からの情報提供～建築士事務所の業務報酬基準の見直しに係る道の対応について

「建築士事務所の開設者がその業務に関して請求することのできる報酬の基準」が改定され、2019年1月21日に平成31年国土交通省告示第98号が新たに公布・施行されました。これを踏まえ、「官庁施設的设计業務等積算基準」を参考として、北海道としては道発注案件の運用を独自に見直し、今年秋以降に以下の内容にて運用を予定しています。

1. 対象外業務率の見直し
2. 小規模補正「難易度補正係数」の独自運用
 - ・ 建築：「木造建築物」の運用を拡大
 - ・ 設備：特殊な性能を有する設備の運用を拡大

設計業務従事者にもおすすめ 建築士会の監理技術者講習

本講習は、監理技術者が現場に配置される際、直近の5年以内に受講が課せられている法定講習ですが、設計者にとっても施工の現状を学べる有意義な講習であり、建築士会CPD認定講習でもあることから、設計業務にのみ従事する方にも学習を目的として受講をおすすめします。

建築士会の講習の特徴

- 1 建築工事主体の講義内容
- 2 評価が高く、見やすいテキスト
- 3 最新版テキストの5年間無償提供(PDF版)
- 4 受講者の高い評価
- 5 時間割(講習は講義と修了試験合計で360分)
- 6 講習修了履歴ラベルシール(講習修了証)の即日交付



建築士会で受講するメリット

- 1 工事入札で加点となるCPD単位が取得
講習を受講するだけでCPD 6単位、受講後にもWEBで年間18単位が5年間取得!
- 2 CPD単位が簡単に登録
一般的にCPD単位の登録には自己申請など手間がかかりますが、建築士会CPD制度参加されている方は、講習終了後に自動的に単位が付与されます。

北海道建築士会講習開催日程と会場

※申込締切は各講習日の7日前まで

8月21日(水)	札幌市(北海道建築士会会議室)	
9月18日(水)	札幌市(北海道建築士会会議室)	/26日(木) 函館市(北海道建築士会函館支部会議室)
10月16日(水)	札幌市(北海道建築士会会議室)	/24日(木) 旭川市(ハタケヤマビル3階会議室)
11月20日(水)	札幌市(北海道建築士会会議室)	/21日(木) 函館市(北海道建築士会函館支部会議室)
12月18日(水)	札幌市(北海道建築士会会議室)	

受講申込方法

WEB申込が便利

■WEB申込 9,500円(テキスト代・消費税込)
日本建築士会連合会ホームページからお申込み
スマートフォンからお申込みOK。受講手数料のお支払は、銀行振込のほか、クレジットカード、コンビニ払いが利用できます。

■郵送申込 10,000円(テキスト代・消費税込)
日本建築士会連合会宛てに申込書を郵送申込み
申込書は、日本建築士会連合会ホームページからダウンロードいただくか、北海道建築士会(011-251-6076)までご連絡いただければ、お送りいたします。

「北海道建築士会の今後のあるべき姿」検討報告書 会員の年一度以上の活動参加を目指す

北海道建築士会ありがた検討会議
座長(相談役) 吉木 隆

●はじめに

平成29年度で一般社団法人としての公益目的支出計画が達成し、新法人移行に関する手続きは全て完了しました。この節目をとらえ、会員の皆様に、本会の健全な運営はもとより、地域での支部の求心力の回復、ポジションの確立等の諸問題を抽出、検証を行い、この先10～20年を見据えた本会の「あるべき姿」を提示するために「北海道建築士会ありがた検討会議」が設立されました。

昨年の6月に第1回検討会議を開催し、本年4月まで通算8回の検討会議を通じて「北海道建築士会の今後のあるべき姿」として報告書をまとめました。本年の第1回理事会、通常総会に中間報告し、第2回理事会に最終報告書を提出し受理され、6月1日の支部長・事務局長会議に報告書を披露しました。既に会員の皆様は、代議員・支部長・事務局長より内容を聞かれていると推察致しますが、ここ会誌に検討報告書の概略を記述します。詳細は本会HPにアップしますので、是非一読願います。

●北海道建築士会の今後のあるべき姿

会員数は、昭和60年9,313人をピークに本年1月3,864人と減少、支部数も36支部から34支部となっています。会員減少の状況ではあるが、「建築お仕事体験」「建築士による住教育出張講座」等の活発な委員会活動が行なわれています。

対外的に認知度はある程度出ていますが、まだまだ高める方策が必要です。これらの現状を踏まえて「今後のあるべき姿」を考えてみました。

- 認知度を高めるには、専門家としての貢献活動や社会貢献を行う必要があります。その活動を支えるのは委員会活動です。多方面な取組みが出来る環境づくりが必要です。本部・ブロック会・支部で実行出来るシステムを創り上げ、全道で活動を展開する事で統一感が生まれます。
- 本会の広く移動が困難を解消するには、ブロック会で活動出来る環境づくりを検討し、将来的には本部の権限を移譲することも視野に入れる必要があります。
- 建築士会は、建築士の社会的使命と職責を全うするための知識及び技能の維持向上のための、研修会、講習会等参加出来る機会を多く企画開催する。そのためシニア世代の活用を図る必要があります。
- 本部と支部が相互に補完し合う関係づくりで、会員サービスの向上を第一義に考え運営に当たる。

- 各支部は近隣支部と“ゆるやかな連携”により、仲間の交流のみでなく専門家としての地域貢献や社会貢献も出来る、筋肉質な活動にも踏み出し、私達の情報を発信する事が大切です。
- 以上の「あるべき姿」を実現するため、現状の財政状況では困難で、会費改定の検討に取り掛かる必要があります。
- 建築士会の入会動機はそれぞれ違うが、活動を通して仲間づくりやスキルアップが図られています。何れにしても活動が楽しくなければいけません。会員一人一人、一年に一度以上活動に参加頂ければ、建築士会として躍動感が出て存在意義があり、そんな建築士会を目指していきたい。

次から中項目の検討内容を記述します。

1) 本部総会の代議員制について

代議員については、各支部から候補者を立てて選出されて、広く各支部の声が届けられる環境と成っています。選挙自体が無投票となり形骸化されているが、全員参加方式での委任状回収の困難性を考慮すると、ある面至善策と思われれます。

代議員は支部の代表として、種々の意見の吸い上げと、審議状況を報告する義務があります。

2) 委員会活動について

実行・特別委員会とも、委員会としての存在意義及び事業内容の検証が必要で、各委員会で議論を通して解決を図る必要があります。

委員会の社会貢献活動には、部会制として委員以外の会員が自由に参加出来ることも視野に入れ、活性化に努めて頂きたい。多くの会員が貢献活動に参加して満足度が得られ、次の活動に繋がります。

3) 支部活動について

支部活動は建築士会活動のベースです。資金・人材上で単独に環境づくりが困難な場合、近隣支部と連携を組み活動する方策が有効です。その様に“ゆるやかな連携”が将来的に、小規模支部同士の統合に及べば、気心の知れた仲間同士として支部運営もスムーズに運ばれます。

支部同士の交流が活発になれば、ブロック会の活動にも影響が出ます。ブロック会の地域割りも現状で良いかは議論が必要です。

4) 会員増強について

会員以外も参加する7月1日「建築士の日」ビールパーティー等の会場に、本会統一行動施策として「会員入会コーナー」を開設し、勧誘を図ると共に、

一般市民に対し本会への理解を得る様に努めることも必要です。

会員のシニア世代への対応も重要で、会社退職による本会退会を思いとどまらせる方策が必要です。若手会員の担い手育成に活躍頂きたい。

5) 全道大会について

会員が全道横断的に交流出来る、唯一のイベントとして継続して毎年開催が望まれます。連合会のブロックで単一士会として、12~15年毎に全国大会が開催される特殊事情があるので、その経験を紡ぐためにも毎年開催は有意義です。

会員同士の交流も重要ですが、一般市民に「建築士及び建築士会」をPRする絶好の機会で、一般市民を巻き込んだ全道大会が今後の課題です。

6) 会費について

今後10年間の収支計画をシミュレーションして見ると、各年度で収支赤字と想定され、このままでは正常な建築士会活動が不可能となります。

正会員の会費は、平成3年月額700円から850円へ改定され、現在の月額1,000円には平成8年に改定し23年が経過しました。その間消費税3%、5%、8%と導入されました。当初は、みなし法人として優遇されていましたが、現在は一般社団法人として課税されています。本年10月には10%の消費税が導入されると、更に苦しい財政状況となります。

全国47都道府県の建築士会の会費を調査すると、平均20,100円(年額)で、最低7,000円、最高33,000円です。会員数1,800人以上の13建築士会で平均20,800円、本会は12,000円です。

建築士としての地位向上や、建築士会としての認知度向上を考えると、今まで以上の地域貢献活動が求められます。その意味でも健全財政の構築は緊急の課題であり、会員の理解形成が必要です。会費改定に対するハレーションがどの程度出るか想定し難いが、中・長期的に考えて、いま取り掛からなければなりません。

会費改定を考えると、改定による退会者を考慮して、シミュレーションでの10年後の会員予想の3,000人規模でも耐得る金額とする事を条件としました。10年後の収支差額937万円赤字とすれば、3千人×3千円=900万円となり、ほぼ赤字が解消出来る見込みとなります。年額3千円は、月額250円となります。正会員会費の内訳を現状と改定後を下記に想定します。

	現状		改定後
正会員会費	月額 1,000円	→	1,250円
連合会分	290円		290円
本部分	300円		400円
支部分	410円		510円
特別活動費	0円		50円
正会員会費	年額 12,000円	→	15,000円

会費改定は、支部等の議論を考慮すると、長時間を要しますので、早期の取り掛かりが肝心です。

7) 事務局体制について

現状は正職員4人体制と、繁忙期に契約・臨時職員の雇用で乗り切っていますが、ハローワーク募集は反応が鈍く苦戦が続きます。職員の就業規則及び給与体系は、平成28年度に見直して厳しい給与水準となっています。将来を見据えると、職員のプロパーを育成する事が急務です。

8) 行政とのつながり

建築士会が今やるべきことは、専門家集団として積極的に市町村への支援活動を推進すべきで、その支援活動を通して首長・幹部に建築士会への認知度を深めて頂くことが大切です。認知度が高まれば、北海道及び市町村の未会員の建築技術職員への勧誘もスムーズに進むものと思われれます。

●さいごに

通算8回の検討会議を通じて「あるべき姿」を種々議論してきましたが、必ずしも会員の皆様の意に沿わない事項もあると思います。先送り出来ない事項もありますので、本報告書を参考に皆様で最適解を見出して頂きたい。

将来とも輝かしい組織として「北海道建築士会」が存在することを望みます。

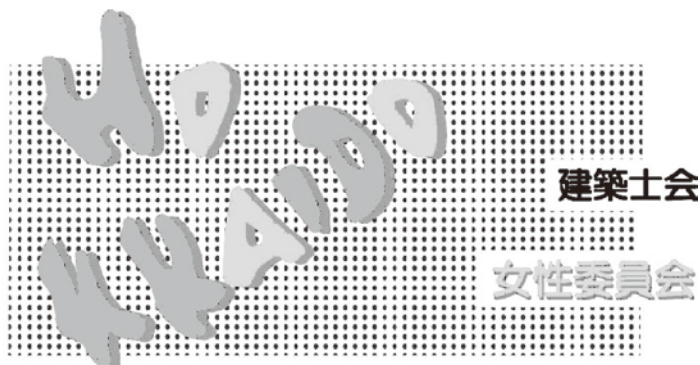


青年委員会「建築お仕事体験」模様



女性委員会「建築士による住教育出張講座」模様

No. 92



勉強会「スワッグ(Swag)」 作りに参加して

川田 朱 (旭川支部)

平成31年1月26日(土)に開催した新年恒例の「勉強会&総会&会食」の会場は、毎年お世話になっている『OMO7 (中国料理 桃源)』です。感謝！感謝！

合格者2名、お招きしスタート。



〈総会は、合格者も参加して集合写真〉

新年最初の勉強会は、「女性らしさを大切に！」をテーマにしているので毎年楽しみです。

今年もいくつか候補が上がっていましたが、「スワッグ(Swag)」作りに決定しました。

「スワッグ」？聞きなれない用語は、直ぐに検索！！ドイツ語で「壁飾り」という意味ですが使われ方にはいろいろあるようです。

さて、本題に戻りますが、今回、私達の講師は、旭川で「はせがわファーム」という農園を運営されている長谷川由三子先生でした。

先生には、草花で作る「スワッグ」を教えてくださいました。

(生花をそのまま束ねて壁に飾るので、ドライフラワーになっていく過程も一緒に楽しめます！と、教えてくださいました)

まずは、先生が準備してくださったハーブティーを頂きながら

リラックス。お土産にと、「手作りジャム」まで頂きました。「女性らしさ」あふれるお心遣い心までほっこりです。

さて、いよいよ実践です。



〈生花でつくるスワッグ(壁飾り)〉

花を「束ねる」作業と安易に考えておりましたが実に難しい。形・大きさに個性がありますので意外とバランスを見ながら束ねていく作業は、握力も必要で時間がかかりました。

先生や仲間からアドバイスを頂き何とか時間内に完成です。



〈完成しました〉

今年も元気いっぱい笑顔で活動して行きましょう。

「女性の集い IN 札幌」 のご案内

後藤 朋恵 (札幌支部)

北海道胆振東部地震から1年が過ぎましたが、全ての道民が自らに起きた災害を体験して、防災についての意識が高まっています。今年度の女性建築士の集いは、北海道防災士会代表、前田博文氏を招き、防災ゲーム「クロスロード」を通して、防災の意識を深める企画にしました。

クロスロードゲームとは、1995年の阪神・淡路大震災の際、災害対応に当たった神戸市職員の「災害対応のジレンマ」をもとに作成されたゲームです。

「クロスロード」(crossroad)とは「岐路」、「分れ道」のことで、そこから転じて重要な決断、判断のしどころを意味します。「こちらを立てればこちらが立たず」を素材として参加者が自分自身で二者択一の設問に判断を下す事を通して、多様な価値観、多様な視点に気付き、相互に意見を交わす事を狙いとしています。

また、前田氏から「防災士」についてのお話を伺います。自然災害のボランティア活動での体験もいかがえます。さらに防災食、防災グッズの紹介もいたします。

日 時：8月24日(土)

15：00～17：40

(受付開始14：30～)

会 場：札幌市中央区大通西5丁目11
大五ビル2階会議室

参加費：無料：15名先着順

申込締切：8月19日(月)

北海道建築士会事務局 担当岡本

FAX：011-222-0924

Mail：okamoto@h-ab.com

詳しくは同梱のフライヤーをご確認ください。

岩内支部

岩内支部創立30周年記念式典を昨年開催しました。

岩内支部支部長
上野 憲之



昨年の事になりますが、岩内支部の支部創立30周年記念式典を6月30日に行いました。岩内支部にとっては、近年にない大きなイベントであり、記念誌の作成、しおりの準備、会場の手配と、仕事で忙しいのか建築士会の行事で忙しいのか、わからない日々が2~3か月続きました。それでも支部スタッフの協力の元、なんとか準備は終わり、ホッとする間もなく最後は式典の挨拶の準備です。人前の高いところで話すのが超苦手な私にとって式典の挨拶はとても

ハードなものでした。何回も練習して、万全の体制で臨んだつもりですが案の定、挨拶の途中でしくじってしまい、一週間ほど落ち込みました。(一週間で立ち直ります。)

今回の行事を終えて思った事は、普段はあまり協力的でない支部会員のみなのですが、いざ、切羽詰ると(本当にギリギリになってからですが)それぞれの立場で一生懸命協力してくれるもんだなあ、意外と岩内支部もいけるジャン。と思った次第です。

随分と時間が経ってしまいましたが、式典にご出席くださいました鈴木副会長様、長谷川理事様、そして近隣の地域の支部長様、ど

うもありがとうございました。また、ご祝儀ほか、たくさんの飲み物等をご提供くださり、改めて御礼申し上げます。

岩内支部はこれからは、全国大会、建築士会行事に参加するだけの平和な日々が続く予定です。



記念式典の様子

遠軽支部

建築士会に入るまで、そしてこれからのこと

遠軽支部理事
井上 隆広



先日、支部長から「よろしく」とメールが来たのですが、何を書いていいか思い浮かばないので自分のことを書こうと思います。

私が建築の道を選んだきっかけは、父親が工務店を経営していたからでした。

記憶もだいぶ薄れてしまいましたが、子供のころから現場に連れていかれたり、角せん機を使って切込み作業を手伝わされたりしていたため、高校を出たあとは深く

考えることもなく旭川の専門学校に進んだのだと思います。

卒業後は、美深町の建設会社に入社したのですが、当時は月2回休めればいほうで、下請け作業の都合で休めないなんてこともありました。

それでも資格を取って周りからも認められるようになると、だんだん仕事も面白くなってきて、苦勞して描いた施工図のとおり現場が仕上がっていくことにやりがいを感じていたものです。

そんなとき建築士会の存在を知り、名寄支部に入会しようと思ったのですが、上司に止められ断念。

数年後に実家に戻った時、遠軽支部に入会しました。

会員は今の3倍くらいだったでしょうか、建築業界もまだ活気がありました。

青年部長だった今の支部長に連れられ、全道各地、時には全国の仲間と交流させてもらい、いろいろな人と知り合えたことが自分にとって大きな財産となっています。

現在は会員の高齢化も進み、また人数が少ないこともあり、ここ数年(以上?)あまり活動できていませんが、できれば若い会員を増やして、建築士会を盛り上げて行けたらと考えています。

東西アスファルト事業協同組合 組合員紹介



株式会社 三浦工業

(札幌市北区)

代表取締役

三浦 信道



当社は平成21年に設立以降、各種防水工法を取り扱う「総合防水施工業者」として、官民間わず幅広い工事を

を請け負っております。防水工事には一定の期間、その性能を保証する「防水保証」が伴います。当社は施工の全てを自社、いわゆる「自家手」で行うことにこだわりを持ち、その品質を追求し続けております。一朝一夕では習得できない防水工事を経験豊富な営業スタッフによる仕様提案と8名の1級防水施工技能士をはじめとする卓越した技術者が皆様の資産価値を屋根から守ります。設立10年と若い会社では御座いますが、これからも皆様の身近な存在として歩んでいきたいと考えております。

TEL : 011-776-7398



株式会社 ライズアイテック

(札幌市北区)

代表取締役

四十谷 敦



弊社は札幌市に事務所を構え、「技術力の強化、信用と実績を築き上げる。」を社是に掲げ、新築・改修問わず防水工

事業を営んで参りました。御客様のニーズに向き合い、日々最適な御提案ができるよう心がけております。建物用途や周辺環境等、物件ごとに異なる条件の中、多種多様な防水工法から最良なものを導き出し手掛けることは容易ではございませんが、各業者やメーカー、工事に係る皆様との連携を図り、確実な防水施工をご提供していく所存です。これまで培った知恵や経験を今後も余すことなく発揮し、東西アスファルト事業協同組合の一員として日々変化していく建設業界の担い手となり、確かな技術力と皆様の信頼を支えとし、社会への貢献に精進して参ります。

TEL : 011-788-4159

CPD認定プログラム(7月認定)

◆令和元年度 BIS更新講習

《日程及び会場》10月8日(火) 9:30~12:30
オホーツク木のプラザ(北見市)

他6会場

《単位数》

3単位

《問合せ先》

(一社)北海道建築技術協会

Tel. 011-251-2794

道士会の動き

道本部の主な会議報告(7月)

◆CPDプログラム審査評議会・専攻建築士審査評議会

《開催日》7月5日(金)

《議題》

- 1) 議長の選出
- 2) 部会の設置・部会長の選出
- 3) 継続能力開発(CPD)制度及び専攻建築士制度の運営状況

◆第2回全国大会「北海道大会」実行委員会縮小委員会

《開催日》7月20日(土)

《議題》

- 1) 北海道大会実施計画

◆第2回事業委員会

《開催日》7月22日(月)

《議題》

- 1) 「防水技術セミナー2019」の地方開催
- 2) 所管事業報告
- 3) BIM活用検討部会(勉強会)の新設

道本部の主な行事予定(8月)

17日(土) 第12回全国大会実行委員会

20日(火) 四役会議

24日(土) まちづくり委員会WEB会議

24日(土) 第2回女性委員会

24日(土) 女性建築士の集い IN 札幌

30日(金) 第3回理事会

関係機関等会議参加予定(8月)

26日(月) CPD専攻建築士制度委員会(東京)

高野会長出席

講習会のご案内

監理技術者講習

8月21日(水) 札幌市

編集後記

いよいよ第62回建築士会全国大会[北海道大会]が間近に迫って来ました。大会実行委員会の皆様、函館支部の皆様、各関係者の皆様におかれましては、9月21日に向け一丸となって準備していることと思われまします。平成19年第50回建築士会全国大会(十勝)から12年ぶりの北海道開催となり、十勝大会では当日ひたすら花咲ガニを剥く作業で終わり、全国の建築士に振る舞った記憶が蘇ります。今回、函館と言えば「イカ」が有名であります。近年不漁ではありませんが、9月21日は全国の建築士とともに「大漁」となり、天気は「快晴」、夜の函館山からの夜景は「絶景」となるでしょう。 情報委員会 村山 賢司

北海道建築士会会長表彰について

例年、北海道建築士会会長表彰及び感謝状の贈呈を全道大会にて執り行なっておりましたが、今年は、第62回建築士会全国大会「北海道大会」が函館市において開催されることから、当該表彰について見送ることとしました。令和2年の表彰枠を拡大して網走市にて開催される第44回北海道建築士会全道大会(網走大会)の場において実施することといたします。なお、連合会会長表彰につきましては9月21日全国大会北海道大会において執り行われます。

「北海道建築士会の今後あるべき姿」報告書ホームページで掲載中

P4-5で特集しました「北海道建築士会の今後あるべき姿」検討報告書は、北海道建築士会ホームページ会員向けコンテンツ下のバナーからご覧いただけます。また右QRコード読み取りご覧ください。



応急危険度判定士及びネットワーク登録のお願い

応急危険度判定士制度が本道で制定されてから20年が過ぎ、登録判定士は当初から大幅に減少している状況です。しかし、もし道内で地震により建物に被害が生じた場合、皆様の家族を含めて市民の二次災害を防止すべく早急に被災建築物の応急危険度判定を行うのは私達建築士の務めです。講習を受けていただき応急危険度判定士への登録をお願いいたします。(北海道主催) 応急危険度判定士認定講習は、10月~全道で(北海道建築士会主催) 応急危険度判定士認定講習会机上訓練11月に旭川市(予定)で開催予定です。(詳細につきましては、後日ホームページ及び9月号会誌等でお知らせいたします)

また、応急危険度判定が必要となり道から派遣依頼が本会に来た場合このネットワークにより派遣判定士を募集しますので会員の皆様にはぜひ登録をお願いします。北海道建築士会ホームページの方から登録できます。

情報委員会委員長/斎藤 勝哉
副委員長/早川 陽子・森 勝利・前田 繁
委員/熊谷 智・柏倉 晶憲
村山 賢司・片岡 哲二

北海道建築士 No.264号

印刷 令和元年7月/発行 令和元年8月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
大五ビル
電話 (011) 251-6076番
URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
電話 (011) 811-7151番